
ふわふわ ～雲と風の便りから～ 第一話

Josh Surface

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ふわふわ　　雲と風の便りから　　第一話

【Nコード】

N78960

【作者名】

Josh Surface

【あらすじ】

やもとなおこさんのアルバム『ふわふわ寄り道しよウウヨ』に収録された「ふわふわ」からインスパイアされた小説です。

原案　やもとなおこ

原作　Josh Surface

やもとなおこさん公式サイト

<http://yamonao.com/>

第一話

えんぴつ。

机の上に、いつもよりいっぱい。
転がって、あっちこっちで待っていてる。

紙の匂い。

少しだけ、懐かしい気がした。大人しく包まってるのに、なかなか
素直にならない。それで良いのかも。

真っ白。

でも、何を描こうか迷っている。もう最近の事じゃないから。

空を描こう

そうだと思った。どこまでも広がる、どこまでも繋がる、少しだけ
乾いた空…。

今朝見た青空。

教室の窓辺から見た事がある。透き通ってた。色えんぴつで、薄く
描いたように。

あの頃の教室。

色んな所に旅をしていたのかも。みんながノートを必死に取る音の
中で、時々迷子になってたから。

さみしんぼうと仲良し。

みんなと良く笑ってたし、いっぱい話もしてた。相談も乗ってたし、不安もあった。だからいつも仲良し。

もっともつと青く。

落っこってしまいそうな、大きな青空を描きたい。今では見れなくなった、あの青空を描きたい。

続く

第二話

色えんぴつ。

今度は赤色と黄色のお手毬。ゆっくり眺めながら描いてみる。

クルクルって。

落ち葉達が追いかけてきたよ。そよ風と笑いながら。

バサバサって。

鳥達が飛んで行った。何処に行くんだろう？

トコトコトコって。

ちょっとだけ前に歩いてみようと思った。だって頑張らないとね。

不安な夜は。

ずっと隠れんぼ。それでもイイって思ってた。

忘れてしまえば。

ずっと思ってた。でも、もっと寂しくなるから笑ってた。

おはよう。

って言えないから、まるで寂しく離れてく夕方の空。

でも、ねえ？

雫のように落ちてきたんだ。だから、今度はあなたに声を掛けてみるね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7896o/>

ふわふわ ～雲と風の便りから～ 第一話

2010年11月9日14時43分発行